

## 1. 木質バイオマス関連情報

■(株)長大(東京)子会社の「(株)南部町バイオマスエナジー」(山梨)が山梨県南部町で整備・運営する「南部町バイオマス発電所」が6月21日より商業運転を開始。既に竣工式(5月21日)の翌日より24時間連続稼働試験などを行っていた。同事業は南部町と「公民連携木質バイオマスガス化発電事業」に係る協定書を交わし、南部町内のアルカディア南部総合公園スポーツセンターの敷地内に木質バイオマスガス化発電設備を建設。燃料は南部町および近隣地域から間伐材由来の木質バイオマス資源を調達し、発電事業を行う。発電工程で得られる排熱はスポーツセンター内温水プールの保温用熱源、並びに木質チップの乾燥用熱源として発電所内で利活用される。またスポーツセンターが南部町最大の防災拠点であることから「非常用電源」の仕組みも取り入れている。発電所の出力は発電が800kw(予定)、熱量が2,000kw(予定)。専用ホームページを作成し、見学会等の申込受付を準備中とのこと【(株)長大：2021/06/22、(株)南部町バイオマスエナジー】

<https://www.chodai.co.jp/news/2021/06/014579.html>

<https://nbe.jp/>

■イーレックス(株)(東京)グループ会社のエバーグリーン・マーケティング(株)(東京、以下「EGM」)が、(株)島津製作所(京都)の自社工場をはじめとする5施設に対し、トラッキング付非化石証書を活用した実質再生可能エネルギーとなる「CO2フリープラン」の供給を開始。島津製作所本社・三条工場の一部と瀬田事業所などに、イーレックスニューエナジー(株)が運営し、PKSを燃料とする土佐発電所(高知、定格出力20MW)のFIT電気の供給を7月から開始する。島津製作所はけいはんな(京都)にある同社研究拠点の基盤技術研究所に大阪ガス(株)(大阪)(販売代理店：Daigas エナジー)の「D-Green Premium」を第1号で契約。FIT制度を利用せず、新たに設置された再生可能エネルギー電源から電力供給を受けるもので、こちらも7月から供給を開始する。島津製作所は2050年までにグループ内で使用する電力全てを再エネ電力にすることを宣言しており、電力の再エネ化を進めている【エバーグリーン・マーケティング(株)、(株)島津製作所、大阪ガス(株)：

2021/06/24】

[https://www.egmkt.co.jp/news/2021/0624\\_1.html](https://www.egmkt.co.jp/news/2021/0624_1.html)

<https://www.shimadzu.co.jp/news/press/r92bb91ecbehg6ff.html>

[https://ene.osakagas.co.jp/topics/press/1296211\\_36013.html](https://ene.osakagas.co.jp/topics/press/1296211_36013.html)

■(一社)日本木質バイオマスエネルギー協会(東京)、クイズ教材「クイズで知ろう！ゼロカーボンを支える 森の力 × 木の力」を作成。地球温暖化防止・脱炭素化社会に向けた木質バイオマス利用の重要性について、学生を中心とした多くの市民に関心を持ってもらいたいとしてタブレット・スマホ・PCで気軽に楽しめるウェブクイズ教材となっている。(一財)日本森林林業振興会の「2020年度森林林業振興会助成事業」を受けて作成【(一社)日本木質バイオマスエネルギー協会：2021/06/25】

<https://www.jwba.or.jp/2021/06/25/%E3%82%AF%E3%82%A4%E3%82%BA%E6%95%99%E6%9D%90-%E3%82%AF%E3%82%A4%E3%82%BA%E3%81%A7%E7%9F%A5%E3%82%8D%E3%81%86-%E3%82%BC%E3%83%AD%E3%82%AB%E3%83%BC%E3%83%9C%E3%83%B3%E3%82%92%E6%94%AF%E3%81%88%E3%82%8B-%E6%A3%AE%E3%81%AE%E5%8A%9B-%E6%9C%A8%E3%81%AE%E5%8A%9B/>

■自然電力(株)(福岡)、鹿児島県さつま町において、グループ初となる木質バイオマス発電事業「さつま町バイオマス発電所」を6月1日に完工し、同月25日に竣工式を実施。発電出力は約1,990kW、年間発電量は、一般家庭約4,500世帯の年間使用電力量相当。約3万t/年使用する予定の燃料(木質チップ)は、併設のさつま町バイオマス燃料合同会社で地域の未利用木材から製造する。地元の17事業体と調達協定を結ぶことで燃料の原料となる木材の安定調達を図るとともに、さつま町を中心とした森林経営計画策定を促進するために、山林所有者に代わって素材生産者等が山林経営の推進や山林集約化による固定経費の軽減、計画的な伐採を行うのをサポートする【自然電力(株)：2021/06/28】

[https://www.shizenenergy.net/2021/06/28/biomass\\_satsuma\\_completion/](https://www.shizenenergy.net/2021/06/28/biomass_satsuma_completion/)

■宮城県登米市のバイオマス発電所計画に住民ら水質悪化懸念。事業を企画する(株)都市開発研究所(東京)によると、食品の残りがすから発生するメタンガスを燃料に発電するもので、同市東和町の山林に建設。発電出力約2,000kW、年間発電量は1万5,000MWh(一般家庭約4,000世帯分相当)を予定。宮城県内を中心とした食品加工工場等から原料に必要なかすを80~100t/日集め、その処理などに伴う排水約113t/日を近くの南の沢川に放出する計画。住民側は南の沢川がゲンジボタルやカジカガエルの生息地域であることや、川沿いに広がる水田の水稻の生育への影響を懸念。同社は昨年9月と今年3月に地元説明会を開いているが事業主体を明らかにしていない。排水の問題だけでなく、万が一事故が起きた場合責任ある対応が取れるのかとの懸念は消えず、地区住民が発電所の建設計画を不安視。同社は登米市内の別の場所と宮城県角田市でもバイオマス発電所建設を計画していることが判明したが、いずれの建設予定地でも住民向けの説明会は開かれていない。同社担当者は「計画が固まった段階で地域住民に説明したい」と話している【河北新報：2021/06/28、2021/06/29】

<https://kahoku.news/articles/20210627khn000022.html>

<https://kahoku.news/articles/20210628khn000044.html>

■日本郵船(株)(東京)、ばら積み船「FRONTIER JACARANDA(フロンティア ジャカラнда)」が、世界的な鉱業会社アングロ・アメリカン社(イギリス)と、バイオ燃料を供給する豊田通商ペトロリアム社(シンガポール)の協力のもと、6月にシンガポール港でバイオ燃料を補油し、南アフリカのサルダナベイまでの航路で試験航行に成功したと発表。今回補油されたバイオ燃料は、同国で収集し精製された廃食油が原料。廃棄処分予定とされていたものを環境に配慮し再生・利用している。同社によるバイオ燃料での試験航行は、2019年にばら積み船「FRONTIER SKY(フロンティア スカイ)」がロッテルダム港で行って以来、2度目。世界最大の燃料補油港であるシンガポール港において、今後もバイオ燃料の試験運行を重ね船舶の代替燃料への転換を加速する事で、海運業界における脱炭素化に貢献するとしている【日本郵船(株)：2021/06/29】

[https://www.nyk.com/news/2021/20210629\\_01.html](https://www.nyk.com/news/2021/20210629_01.html)

■(株)武田鉄工所(北海道)が開発した、小麦くずを燃料として暖房等に使う小型バイオマスバーナを普及させる実証事業が、経産省の地域・企業共生型ビジネス導入促進事業補助金に採択。北海道帯広市川西農業協同組合(北海道)や地元企業、国立研究開発法人産業技術総合研究所北海道センター(同)、帯広市などが実証連携法人として名を連ねている。十勝管内5カ所の農業施設にバーナを導入し、収益性を含め、ビジネスモデルとして成立するかどうか検証する予定【十勝毎日新聞：2021/06/30、経産省：2021/06/03】

<https://kachimai.jp/article/index.php?no=536062>

<https://www.meti.go.jp/information/publicoffer/saitaku/2021/downloadfiles/s210608001.pdf>

■住友重機械工業(株)(東京)、MT エナジー(株)(宮崎)よりMT エナジー発電所建設工事を受注したと発表。建設予定地は宮城県都城市。発電所は同市を中心とした山林未利用材を原料とする木質チップを使用し、発電出力は5,750kW。同社グループが国内外で500缶以上の実績を持つ「循環流動層(CFB)ボイラ」を採用。2023年運転開始予定【住友重機械工業(株)：2021/06/28】

<https://www.shi.co.jp/info/2021/6kgpsq000000i8o0.html>

■アクサ・インベストメント・マネージャーズ(株)(東京)、森林破壊や自然生態系の改変に影響する企業への投資を制限するため策定したガイドラインで、パーム油に関する方針を拡大。同社は生物多様性を保護し、持続可能な事業慣行を奨励し、移行を支援するため企業とのエンゲージメントを拡大。パーム油方針は2014年に開始され、「持続可能なパーム油」の生産証明書を取得できなかった企業や、未解決の土地権利紛争や違法伐採問題などの問題に直面した企業への投資は除外してきた。生態系保護と森林破壊の方針の拡大を通じて、重大な土地利用論争に直面し、大豆、畜産、木材に関連する生物多様性の喪失に責任を負う企業に対し、投資禁止を拡大していく。強化したパーム油方針は6月16日から適用【HEDGE GUIDE:2021/06/29】

<https://hedge.guide/news/axa-im-palm-oil-202106.html>

■三井化学SKCポリウレタン(株)(東京)、山口県周南市にある自社徳山工場において、再生可能エネルギー電源(水力・太陽光・バイオマス発電)によるCO<sub>2</sub>排出量ゼロ電力の購入を6月から開始。中国電力(株)(広島)から購入する電力の一部を

切り替える【三井化学 SKC ポリウレタン (株) : 2021/06/30】  
[https://jp.mitsuichemicals.com/jp/release/2021/2021\\_0630.htm](https://jp.mitsuichemicals.com/jp/release/2021/2021_0630.htm)

■(株)リグノマテリア(東京)や国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所など7者からなる共同事業体が6月30日に茨城県常陸太田市にスギ由来の新素材「改質リグニン」の製造実証プラントを竣工。改質リグニンは森林総研が開発。耐熱性や加工性に優れるといった特徴を持ち、高機能プラスチックの代替として利用可能。実証プラントは、改質リグニンの安定生産を実証する世界初のプラントで、林野庁の補助事業「林業分野における新技術推進対策のうち木質新素材による新産業創出事業(地域資源を活用した改質リグニン製造産業のモデル開発)」で建設された。プラントの立地については、木質資源が集積される既存林業・木材産業に隣接した地域が望ましいことから、茨城県宮の郷工業団地内で日立造船(株)(大阪)が操業する「宮の郷木質バイオマス発電所」に隣接して設置。将来的には発電所からの廃熱利用の可能性などが想定されている【日本経済新聞、@Press : 2021/06/30】

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOCC305JP0Q1A630C2000000/>

<https://www.atpress.ne.jp/news/264375>

■中国電力(株)(広島)が『あつまれ×カーボンニュートラル』企画をスタート。Nintendo Switch 専用ソフト「あつまれ どうぶつの森」のゲーム内にて、「しゃいん」のキャラクターを通して、自社のカーボンニュートラルに向けた取り組みを紹介。自社ホームページの特設サイト『あつまれ カーボンニュートラルの森』でも見られるようになっており、マイデザインの紹介はもちろんのこと、カーボンニュートラルへの挑戦の紹介や、マイデザインを着た自社シンボルスポート選手たちが登場する動画を更新中【PR TIMES:2021/06/30】

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000005.000079965.html>

■集材材大手の銘建工業(株)(岡山)、2020年2月に着工していた本社工場内のバイオマス発電2号機が完成。7月1日に火入れ式。敷地面積約3,000㎡、総工費は約30億円。発電出力は4,990kWで、1998年から稼働してきた1号機(出力1,950kW)の約2.5倍の出力。同社のバイオマス発電はもともと

と集材材の生産工程で生じる端材を燃料にして始まった。近年では真庭周辺から集まる樹皮や枝葉なども購入。ただ工場内で消費する電力がバイオマス1号機からの供給では追いつかず、約6,000万円/年を投じて電力を購入してきた。2号機の稼働で自家消費分の電力をカバーでき、さらに年間3億円程度の売電収入が得られる見込み。発電所は8月から本格稼働させる予定【日本経済新聞 : 2021/07/01】

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOCC019GF0R00C21A7000000/>

■都内にオフィス及び商業ビル計3棟を所有する不動産賃貸業の(株)三葉ホールディングス及び三葉興業(株)(東京)以下「三葉グループ」が、使用電力を100%再生可能エネルギーに転換することを宣言する枠組み「再エネ100宣言 RE Action」への参加を表明。麴町三葉ビルでは4月より、サミットエナジー(株)(東京)傘下の酒田バイオマス発電所(山形)で発電した再エネ電気とトラッキング付き非化石証書(70%)を組み合わせた供給を受けており、同ビルのCO<sub>2</sub>排出を7割削減する。渋谷三葉ビルは7月より、みんな電力(株)のブロックチェーン技術を活用した電力特定サービス(P2P電力トラッキングシステム)を利用し、主に自然災害で被災した地域で作られた再エネ100%電力を調達することで、被災地域を応援。グループ全体での再エネ電力割合は基準年度(2019年度)比で、2021年度に約70%(削減量985t-CO<sub>2</sub>/kWh)となる見込み。2050年までの達成を目標としているが、大幅な前倒しも見込み早期達成を目指す【PR TIMES:2021/07/01】

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000001.000082232.html>

■栗田工業(株)(東京)と東芝エネルギーシステムズ(株)(神奈川、以下「東芝ESS」)が、火力やバイオマスなどの発電所全般向けの排水処理分野においてデジタル技術を活用した運用最適化の効果検証について協業検討を開始。栗田工業が保有する水処理技術・ノウハウと、東芝ESSで開発しているエネルギーIoTサービス「TOSHIBA SPINEX for Energy」を融合させ、顧客のニーズに合わせて「マイクロサービス」を適用。それにより、再生可能エネルギーの拡大に則した運転やCO<sub>2</sub>排出量が少ない燃料の適用拡大を可能にするソリューションの提供を目指す【産経新聞 : 2021/07/06】

<https://www.sankei.com/economy/news/210706/prl2107060>

■エア・ウォーター（株）（大阪）、長野県安曇野市にある（株）エア・ウォーター農園の安曇野菜園敷地内に設けた「安曇野バイオマスエネルギーセンター」にて国内初のガス化発電方式によるトリジェネレーション事業を7月1日より開始したと発表。安曇野バイオマスエネルギーセンターに小規模発電に適したバイオマスガス化発電設備を導入し、2020年4月よりFIT制度を活用した1,000kW規模での発電および発電設備からの排熱を安曇野菜園へ供給するコジェネレーション事業を行ってきた。そこに今回新たに1,000kW規模の設備を加えた2,000kW規模でのコジェネレーションシステムが完成し、発電設備から排出されるCO<sub>2</sub>を多く含む排ガスを浄化し、トマトの光合成促進のために供給する国内初のガス化発電方式によるトリジェネレーション事業を開始。これまで燃料としてLPガスを1,400t/年使っていたが、3~4割減らせる見通し。液化炭酸ガスは1/3減らす。発電した電力は売電する。発電設備を含む設備導入費は30億円【JA com：2021/07/07、日本経済新聞：2021/07/01】

<https://www.jacom.or.jp/saibai/news/2021/07/210707-52519.php>

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUF0155P0R00C21A700000/>

■資源エネルギー庁、2021年度中のFIT認定申請にかかわる期限日を公表。バイオマス部門の新規・変更認定申請期限日は本年12月3日（金）に。特に今年度は、次年度からエネルギー供給強靱化法が施行され、災害時の連携強化やFIP制度の導入など、大きく制度が変わるので期限前に申請が集中することが予想されることから、円滑な審査のため、申請期限日に関わらず早期の申請を呼びかけている【OSR No.475：2021/07/07、資源エネ庁：2021/06/21】

[https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving\\_and\\_new/saiene/kaitori/dl/announce/20210621.pdf](https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saiene/kaitori/dl/announce/20210621.pdf)

■経産省、第10回総合資源エネルギー調査会省エネルギー・新エネルギー分科会新エネルギー小委員会 バイオマス持続可能性ワーキンググループを6月30日にオンライン開催。議題は①今年度のバイオマス持続可能性WGの進め方、②FIT制度下におけるバイオマス発電の持続可能性基準について、③再生

可能エネルギー等の温室効果ガス削減効果に関するLCAガイドラインについて（環境省）。当日の資料、議事要旨共下記サイトより閲覧可【経産省：2021/06/30】

[https://www.meti.go.jp/shingikai/enecho/shoene/shinene/shinenergy/biomass\\_sus\\_wg/010.html](https://www.meti.go.jp/shingikai/enecho/shoene/shinene/shinenergy/biomass_sus_wg/010.html)

■石川県加賀市、東大や民間企業と共同研究で国産カカオを生産してチョコレート産業の育成へ。市と東京大、（株）フェリシモ（兵庫）、バイオマス発電の助言などを行う「（株）DK-Power」（大阪）の四者が7月7日、共同研究契約を締結。東大の樹芸研究所（静岡）は温泉の排熱を利用した温室で熱帯・亜熱帯の樹木を育てており、2015~2019年にはチョコレートメーカーと協力し、カカオの木から板チョコを製造し商品化した。豊富な温泉資源の活用を模索していた加賀市が東大の取り組みに着目。協力を打診し、合意した。「カカオの森づくり」と題した計画では、温泉の排熱を活用してカカオの苗木を育て、チョコを製造・販売。製造工程で出た実の殻を原料にバイオマス発電し、再びハウスの熱供給に活用する。年度内に耕作放棄地を活用し、樹芸研究所から苗木50本を定植する。市によると、チョコレートメーカー等と事業化に向け、水面下で協議中。数年後には少なくとも1,000本まで木を増やし、一定の生産量を確保したい考え【中日新聞：2021/07/08】

<https://www.chunichi.co.jp/article/286713>

■豊田通商（株）（愛知）子会社の豊田通商アメリカ（USA、以下「TAI」）は、米国カリフォルニア州（以下「CA州」）で再生可能天然ガス（Renewable Natural Gas、以下「RNG」）の製造・販売を行うMerced Pipeline LLCに出資（2021年4月）。Merced Pipeline社はCA州内の15社の牧畜業者と提携しており、家畜ふん尿から発生するバイオガスを大気放出前に収集してメタンガスに精製し、既存の天然ガスのパイプラインを介してRNGとして供給する事業を行っている。水素製造においても、RNGなどのガス由来は製造効率も良く、有力な手法として活用されている。TAIは、RNG由来の水素の地産地消のバリューチェーン構築を目指すとともに、2020年9月よりLA港で開始している港湾荷役機械動力源の水素燃料電池化（FC化）の取り組みとのシナジー創出を図るなど、港湾のゼロエミッション化を積極的に推進していく計画でMerced Pipeline社に出資。2022年初旬の商用化に向け2021年7月下旬に生産・試運転を開始する【豊田通商（株）：2021/07/12】

[https://www.toyota-tsusho.com/press/detail/210712\\_004863.html](https://www.toyota-tsusho.com/press/detail/210712_004863.html)

■フォレストエナジー（株）（東京）、島根県津和野町における木質バイオマス発電事業（以下「津和野バイオマス」）の建設工事に着手したと発表。事業主体はフォレストエナジー100%出資の「津和野フォレストエナジー合同会社（東京）」。7月5日付けで（株）商工組合中央金庫がアレンジャーを務め、（株）山陰合同銀行（島根）、日本海信用金庫（同）が参加した総額4億円のシンジケートローン契約を締結。津和野バイオマスは、津和野地域から集材した約6,500t/年の原木を、津和野町が新たに建設中のチップ工場（地元業者が運営予定）で加工し、480kWの電気（約1,000世帯分）を中国電力ネットワーク（株）（広島）に供給する。発電設備は同社が提携するフィンランド Volter Oy 製の熱電併給設備「Volter 40 Indoor」を12台設置。Volter 40は国内で29台導入しているが、1箇所に12台導入するのは国内外で初。想定年間発電量は約374万kWh（一般家庭約1,000世帯の年間使用電力量相当）。同設備からの約1,200kWの熱（温水）は主にウッドチップの乾燥に使用。乾燥機は温水を熱源とする英国 WoodTek Engineering 製の Eco T4 Plus を使うことで、ウッドチップの含水率を用途に合わせて自動的に乾燥できることから、自社利用に加え近隣のチップボイラ等にも供給を予定する。2022年6月稼働予定。商業運転開始後は津和野地域における Volter40 やチップボイラの増設に取り組み、副産物であるバイオ炭の利用を促進することで、地域資源循環型エネルギーシステムの構築を進めていく考え【フォレストエナジー（株）：2021/07/13、商工中金；2021/07/12】

<https://forestenergy.jp/2021/07/13/tsuwano/>

[https://www.shokochukin.co.jp/assets/pdf/nr\\_210712\\_01.pdf](https://www.shokochukin.co.jp/assets/pdf/nr_210712_01.pdf)

■日立造船（株）100%子会社の Hitachi Zosen Inova AG（スイス、以下「HZI」）が、ドイツの Viessmann Industriesysteme GmbH との間で同社傘下の Schmack Group でバイオガス事業を手がける Schmack Biogas Service GmbH（以下「SBS 社」）および microbEnergy GmbH（以下「ME 社」）の全株式取得を契約。HZI は2014年にバイオガス事業に参入。乾式メタン発酵技術「Kompogas®（コンポガス）」を保有し、ドイツ、スイス、イタリア、北米などに建設中も含め100施設の建設実績を有している。Schmack Group はドイツを中心に主に湿式メタン発酵技術のバイオガス事業を展開しており、同グループでメンテナンス

事業を手がける SBS 社と、研究開発を手がける ME 社を傘下に加えることで、HZI は乾式と湿式の両バイオガス技術の研究開発から設計、建設、運営およびメンテナンスを一貫して行うことが可能に【日立造船（株）：2021/07/13】

<https://www.hitachizosen.co.jp/news/2021/07/003741.html>

■栃木県宇都宮市などが、地域新電力会社「宇都宮ライトパワー（株）」を設立したと発表（7月13日）。市とNTT系のスマートエネルギー事業推進会社「NTT アノードエネジー（株）」（東京）、東京ガス（株）（同）、（株）足利銀行（栃木）、（株）栃木銀行（同）が出資。電力調達を中心となるのが市のごみ焼却施設「クリーンパーク茂原」の電力。同施設の FIT が今年12月で終了することなどから2022年1月の小売り電気事業開始を目指して設立した。同施設からの電力等を宇都宮ライトパワーが買い取り、市有施設や2023年3月開業予定の次世代型路面電車（LRT）に供給するなど、幅広い事業展開を目指す【毎日新聞：2021/07/14、下野新聞：2021/03/13】

<https://mainichi.jp/articles/20210714/dtl/k09/010/079000c>

<https://www.shimotsuke.co.jp/articles/-/427490?relatedbody>

■群馬県神流町と（株）トラストバンク（東京）、7月14日に地域エネルギー事業における包括連携協定を締結。神流町は、トラストバンクが運営するふるさと納税総合サイト「ふるさとチョイス」を利用しており、今回の協定で両者の連携をエネルギー事業にも拡大する。協定の第一弾は、神流町の宿泊施設「古民家の宿川の音」に太陽光発電設備と Tesla 社製の蓄電池「Powerwall」を設置する。今後、神流町の豊かな森林資源を活用したバイオマス発電事業および持続可能な森林管理体制の構築の検討に加え、神流町が既に表明しているゼロカーボンシティの実現に向けて、CO<sub>2</sub> 排出量の把握～削減まで共同で幅広く検討を進めるとしている【（株）トラストバンク：2021/07/14】

<https://www.trustbank.co.jp/newsroom/newsrelease/press443/>

■（株）エコグリーンホールディングス（東京）、千葉県内の3地域（富里市、山武市、東金市）の森林において、森林再生プロジェクトをスタート。第1弾として7月1日に同グループ、富里市、学校法人東邦大学（東京）と土地所有者による覚書を締結。今春、プロジェクトの中核となる森林再生事業に特化した（株）EG Forest も設立しており、富里市が推進する「森林再

生プラン」において再生を進めている森林で早生樹を活用したモデル森林の造林に着手する。同社はジャパン・リニューアブル・エナジー（株）（東京）のグループ会社であり、同グループの JRE 神栖バイオマス発電所（茨城）への木質バイオマス燃料の供給を行っている。このプロジェクトにおいて全グループ会社と連携し、その力を結集することで、今後 10 年間にわたり荒れた森林の伐採から、早生樹を活用した造林と維持管理、さらに木質バイオマスをはじめとした森林資源を活用した収益化とその管理まで幅広い範囲を担う【(株)エコグリーンホールディングス：2021/07/15】

<http://www.eco-g.com/data/eg-news20210716a.pdf>

■(株) G-Bio イニシアティブ（東京）、宮城県石巻市須江地区に建設を予定する液体バイオマス発電所について同市須江瓦山・沢田地区住民を対象にした説明会を開催（7月11日）。地元住民ら約 60 人が出席。既に土地を取得し、計画を推進したい事業者側に対し、建設場所が住宅や小学校などに近く周辺の交通安全、燃料への不安などから計画の撤回を求める住民側から厳しい声が相次いだ【河北新報：2021/07/17】

<https://kahoku.news/articles/20210717khn000014.html>

■大和エネルギー・インフラ（株）（東京）、運営している DS グリーン発電甲斐合同会社（東京）が山梨県甲斐市における木質バイオマス発電所の開発に関して甲斐市と基本協定書を締結したと発表。甲斐市はバイオマスの活用により自律的で持続可能なまちづくりの構築を目指すため、2015 年 7 月に「甲斐市バイオマス産業都市構想」を策定。本発電所を同構想における

重点プロジェクトに位置付けている。大和エネルギー・インフラは DS グリーン発電甲斐に資金拠出し、発電所の開発及びコンサルティングサービスを提供するグリーン・サマル（株）（東京）による監修のもと、開発を進める。発電所名は「甲斐双葉発電所」で発電出力は 6,950kW、想定年間発電量は約 4,800 万 kWh（一般家庭 約 1.3 万世帯分の年間使用電力相当）、8 万 t/年程度の未利用材及び一般材等の利用を計画。着工は今年 10 月、2024 年 2 月までに運開予定【大和エネルギー・インフラ（株）：2021/07/19】

<https://daiwa-ei.jp/news/pdf/20210719.pdf>

■NEDO、「バイオジェット燃料生産技術開発事業／実証を通じたサプライチェーンモデルの構築」に係る実施体制の決定について公表。決定したのは日揮ホールディングス（株）（神奈川）、（株）レポインターナショナル（京都）、コスモ石油（株）（東京）、日揮（株）（神奈川）の 4 社合同で実施する「国産廃食用油を原料とするバイオジェット燃料製造サプライチェーンモデルの構築」と、（株）JERA（東京）、三菱パワー（株）（神奈川）、東洋エンジニアリング（株）（千葉）、伊藤忠商事（株）（大阪）の 4 社合同で実施する「バイオマスガス化 FT 合成による SAF 製造実証およびサプライチェーン構築」の二件。事業期間は 2021 年度～2024 年度。2030 年頃までの確実な事業化の実現を目指す【NEDO：2021/07/21】

[https://www.nedo.go.jp/koubo/FF3\\_100312.html](https://www.nedo.go.jp/koubo/FF3_100312.html)

※OSR：バイオマス・再エネ等の専門情報誌「オンサイト・レポート」の略

## 2. ペレット関連情報

■国際・国内輸送業などを展開する下関海陸運送（株）（山口）のバイオマス燃料倉庫が山口県下関市彦島迫町に完成。6月24日に現地で竣工式を実施。来年営業運転開始予定の国内最大級の木質バイオマス発電所「下関バイオマス発電所」そばに建設。同発電所は九電みらいエナジー（株）（福岡）が発電所の運営全般、西日本プラント工業（株）（福岡）が設備の建設・保守、九電産業（株）（福岡）が運転を担当するなど、九電グループ 3 社が事業を一貫して担うかたちで 2022 年 2 月の運開を目指し、建設工事を進めている。事業者名は「下関バイオマスエナジー合同会社」（九電みらいエナジーが 85%、西日本プラント工業

が 9%、九電産業が 6%出資）。発電所の定格出力は 74,980kW、年間発電量は約 5 億 kWh/年（一般家庭の約 14 万世帯相当）、燃料は木質ペレットで約 30 万 t/年使用予定。下関海陸運送は 7 月から同発電所が燃料として使用する木質ペレットと PKS の荷揚げ、保管、運搬業務を担う【山口新聞：2021/06/25、下関海陸運送（株）：2021/06/24、九電みらいエナジー（株）：2019/05/24】

<https://www.minato-yamaguchi.co.jp/yama/e-yama/articles/28226>

<http://www.sku01.com/20170410091147>

■住友商事（株）（東京）、6月18日開催の株主総会でオーストラリアのNGO「マーケット・フォース」から提出された気候変動対策の強化を求める株主提案に「賛成2割」の重圧。石炭や石油、ガス事業関連資産の事業規模をパリ協定の目標に沿ったものにする事業戦略を毎年公表するよう、定款変更を求める内容。これに対し同社は「事業戦略の柔軟性を阻害するため」反対を表明。結果的には定款変更に必要な「2/3以上」を大きく下回る20%の賛成にとどまった。同社がターゲットになったのは「石炭関連事業資産の削減で他社に遅れをとっている」ため。発電用に使われる一般炭の権益について、三菱商事（株）（東京）や三井物産（株）（東京）、丸紅（株）（東京）はすでに撤退を完了。伊藤忠商事（株）（大阪）も撤退を急いでいるが、同社は「今後の新規権益取得は行わずに2030年の持ち分生産量ゼロを目指す」とスピード感に欠けた目標にとどまる。同社は石炭火力の燃料にバイオマス燃料を混ぜたり、石炭火力発電所をバイオマス発電所につくりかえたりすることも脱石炭を進める手法の1つとしており、海外木材の利用に最も積極的。しかし生産から輸送、燃焼までのライフサイクルを考えると、海外木材は温室効果ガスを大量に排出する燃料とする懸念もある。国際環境NGOのマイティ・アースは6月10日に公表した報告書で、「（住友商事は）北米からの木質ペレットの輸入を大幅に増やしている」と警鐘を鳴らしており、同社が今後どのように脱石炭を進めていくのか、その手法にも注目が集まる【YAHOO! Japan ニュース：2021/06/24】

<https://news.yahoo.co.jp/articles/c624d8446b70aa7c05b4dbe066b9d2ea80b0d364?page=1>

■九電みらいエナジー（株）（福岡）が研究代表者として進める「バイオマス発電所焼却灰有効利用プロジェクト」が今春、福岡県リサイクル総合研究事業化センターの2021年度の共同研究プロジェクトとして採択。バイオマス発電所から排出される焼却灰は、産業廃棄物であるためその大半が埋め立て処分されている。プロジェクトでは福岡県内の産学官メンバーと共にバイオマス発電所焼却灰に鶏糞等を混合し、混合特殊肥料として日本から海外植林地に戻して次の植林木を育てることで、バイオマス資源の国際循環を目指す。2023年の事業化に向けて取り組む【新エネルギー新聞：2021/06/25、福岡県リサイクル総合研究事業化センター：2021/04/01、九電みらいエナジー

（株）：2021/04/12】

<http://www.newenergy-news.com/?p=28897>

<https://www.recycle-ken.or.jp/selects/index/nendo:2021>

<https://www.q->

[mirai.co.jp/files/optionallink/00000278\\_file.pdf?1745597554](mirai.co.jp/files/optionallink/00000278_file.pdf?1745597554)

■（有）山本板金（和歌山）、南部タクシーテナントにペレットストーブの展示・販売場をオープン（展示場は基本的には無人であるため、見学の際には連絡が必要）。またペレットストーブでピザ（1枚500円）を焼くイベントなども開催。南部駅前が少しでも活性化しよう今後もさまざまなイベントを企画しているとのこと【日高新報：2021/06/25】

<https://www.hidakashimpo.co.jp/news1/2021/06/%E3%88%B2%E5%B1%B1%E6%9C%AC%E6%9D%BF%E9%87%91%E3%80%80%E7%92%B0%E5%A2%83%E3%81%AB%E3%82%84%E3%81%95%E3%81%97%E3%81%84%E3%83%9A%E3%83%AC%E3%83%83%E3%83%88%E3%82%B9%E3%83%88%E3%83%BC%E3%83%96.html>

■（一社）日本木質ペレット協会（東京）、6月18日開催の第1回理事会において、役員を改選。役員一覧を同協会サイトに掲載【（一社）日本木質ペレット協会：2021/06/29】

<https://w->

<pellet.org/2021/06/29/%e5%bd%b9%e5%93%a1%e6%94%b9%e9%81%b8%e3%81%ae%e3%81%94%e5%a0%b1%e5%91%8a/>

■岩谷産業（株）（東京・大阪）、バイオマス発電およびグリーン液化水素製造の事業化に向けた検討を開始。事業では、PKSおよび木質ペレットなどのバイオマスを原料とした5万kWのバイオマス発電設備と、これらのバイオマスから水素を製造し、-253℃まで冷却して液化する設備を併設する計画。水素の製造・液化で要する電力は、再生可能エネルギーであるバイオマス発電から給電する。現在、バイオマス発電施設の候補地を選定中。同社は2015年よりバイオマス発電所向けにPKSおよび木質ペレットの輸入・販売事業を開始して以来、着実に販売数量を拡大。水素事業については1941年に取り扱いを開始して以来、製造から輸送・貯蔵・供給・保安まで一貫した供給体制を構築。国内の水素販売量の7割を占める。両事業を融合し、日本初のグリーン電力およびグリーン液化水素の供給を目指す【岩谷産業（株）、日本経済新聞：2021/06/30】

<http://www.iwatani.co.jp/img/jpn/pdf/newsrelease/1400/202>

[10630 news.jp.pdf](#)

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUF3097M0Q1A630C2000000/>

■環境省、「再生可能エネルギー等の温室効果ガス削減効果に関するLCAガイドライン」を改訂したと発表。再生可能エネルギーの導入による温室効果ガス排出削減効果の評価に当たっては、二酸化炭素を排出しない使用時のみだけでなく、ライフサイクル全体を考慮した削減量を評価する、いわゆるライフサイクルアセスメント（LCA）にも着目することが重要ということで、2013年3月に同ガイドラインを策定。しかし昨今利用が拡大している輸入バイオマスを活用する事業者もLCAの観点から自らの事業を評価することができるよう、同ガイドラインの改訂を行った。ガイドラインは下記サイトより閲覧可【環境省：2021/07/01】

<http://www.env.go.jp/press/109253.html>

■Russia Forest Products Group（ロシア）との合弁会社「RFP Wood Pellets」に出資し、ロシアでのペレット製造事業を展開している（株）プロスペクト（東京）が、商号を変更（7月1日）。6月29日開催の第120回定時株主総会で、商号および事業目的の変更、それに伴う定款の一部変更が承認された。今後の事業拡大にあたり、連結子会社における不動産事業、再生可能エネルギー事業及び投資運用事業を束ねる同社が、未来に向かって革新及び挑戦し続ける姿勢を示すため、商号を「（株）ミライノベート（英文：Mirainovate Co., Ltd.）」に変更。定款には新たに「自然エネルギー事業に関する調査、研究、規格、開発、施工、運転、保守、管理、加工、売買、投資、仲立及び代理」とする事業活動の条文を追加【（株）ミライノベート：2021/07/01、2021/05/12】

<https://mirainovate.co.jp/etc/7026/>

<https://mirainovate.co.jp/ir/5795/>

■ベトナム、2020年の燃料ペレット輸出量が約320万tに達し、世界第2位の輸出国に。7月7日付ベトナム国営通信（VNA）がベトナム税関総局による情報として伝えた【NNA ASIA：2021/07/12】

<https://www.nna.jp/news/show/2211435>

■福岡県京都郡苅田町で建設が進められていた「苅田バイオマス発電所」が6月21日に営業運転を開始し、九州電力（株）（福岡）に売電開始。7月15日には竣工式を実施。事業者となる苅田バイオマスエナジー（株）の出資者は5社にのぼり、出資比率は（株）レノバ（東京）が43.07%、住友林業（株）（東京）が41.5%、ヴェオリア・ジャパン（株）（東京）が10.0%、九電みらいエナジー（株）（福岡）が5.0%、三原グループ（株）（福岡）が0.43%。使用する約36万t/年の燃料は北米産のペレット、東南アジア産のPKS、九州北部の間伐材や林地未利用木材による木質チップ。1万tの木質ペレットを貯蔵する大型タンクも3棟設置。発電出力は約75,000kW、想定年間送電量は約500GWh/年（約170,000世帯分）と国内最大級【日本経済新聞、九電みらいエナジー（株）：2021/07/15、苅田バイオマスエナジー（株）】

<https://www.nikkei.com/nkd/company/article/%3FDisplayType%3D1%26ng%3DDGXZQOJC152490V10C21A7000000%26scode%3D9508&ct=ga>

[\[mirai.co.jp/files/optionallink/00000295\\\_file.pdf?1626936579\]\(https://www.mirai.co.jp/files/optionallink/00000295\_file.pdf?1626936579\)](https://www.q-</a></p></div><div data-bbox=)

<https://www.kb-energy.jp/>

■出光興産（株）（東京）が日本郵船グループと出資する「郵船出光グリーンソリューションズ（株）」（東京）が、石炭ボイラにおけるバイオマス燃料の最適な混焼率を算出するシステム「BAIOMIX™」（バイオミクス）を開発。石炭の代替とする動きが加速しているバイオマス燃料は、石炭に比べ粉碎性や発熱量が劣るため、大型の微粉炭ボイラでは使用量が制限されている。一方出光興産は粉碎性や発熱量などに優れ、石炭とほぼ同様に取り扱うことが可能な半炭化した「ブラックペレット」の開発を行ってきている。今回開発したシステムではブラックペレットをはじめとしたバイオマス混焼による、機器や発電効率への影響・経済的負担を算定し、過去の混焼率データからAIが最適な混焼率を算出する。石炭とバイオマス燃料を既存設備で混合してから燃焼する方式に加え、バイオマス燃料を専用ラインから投入し石炭と炉内混焼する方式等、さまざまな燃焼方式で利用可能。郵船出光グリーンソリューションズが販売するボイラ制御最適化システム「ULTY-V plus」へ同システムを搭載することで、石炭ボイラでのバイオマス混焼を最適に自動制御することも可能に。8月に販売開始予定【出光興産（株）：2021/07/15】

<https://www.idemitsu.com/jp/news/2021/210715.html>

■沖縄県うるま市で 2019 年 5 月から建設が進められていた「中城バイオマス発電所」が 7 月 20 日より営業運転開始。事業主である沖縄うるまニューエナジー（株）（沖縄）は、イーレックス（株）（東京、出資比率 44.8%）、九電みらいエナジー（株）（福岡、同 20.0%）、トーヨーカネツ（株）（東京、同 10.0%）、沖縄ガス（株）（沖縄、同 6.8%）、（株）九電工（福岡、同 4.5%）、東京ガスエンジニアリングソリューションズ（株）（東京、同 2.7%）、その他地元企業等 5 社（沖縄、同 11.2%）が共同で出資。イーレックスはバイオマス燃料の調達・供給、九電みらい

エナジーは発電所の技術的サポート、東京ガスエンジニアリングソリューションズは発電所の運転を担うなど、各社の強みを活かした安定的な事業運営を行う。主燃料は木質ペレットと PKS。定格出力は 49,000 kW、年間発電量は約 350,000MWh（一般家庭約 11 万世帯分の年間消費電力に相当）と、沖縄県内最大の木質バイオマス専焼発電所【イーレックス（株）：2021/07/21】

<https://www.erec.co.jp/news/pressrelease/1579/>

### 3. イベント情報（国内）

※本メールニュースに掲載のイベントは情報として紹介しているもので、参加を推奨するものではありません。  
※新型コロナウイルスの影響により、イベント、展示会で急遽中止や延期を決定される場合があります。開催の有無については各ウェブサイト等で最新情報を確認するようにしてください。

◎：木質ペレット燃料、ストーブ、ボイラの関連イベント

◎JPI（日本計画研究所）「九電みらいエナジー（株）：バイオマス発電事業を核とした木質ペレット生産事業、焼却灰有効利用事業への取組みと今後の展望～『バイオマス資源循環構想（みらい緑のリング）』～」

2021 年 08 月 03 日（火）

JPI カンファレンススクエア（東京都港区）／ライブ配信／アーカイブ配信

<https://www.jpi.co.jp/seminar/15553>

■（公財）自然エネルギー財団「2030 年持続可能なエネルギーミックスはどうあるべきか 政府案の徹底検証」

2021 年 8 月 5 日（木）

ウェビナー（Zoom）

<https://www.renewable-ei.org/activities/events/20210805.php>

■（公財）地球環境戦略研究機関（IGES）「気候変動ウェビナーシリーズ 自主的炭素市場の今後の行方—TSVCM レポート（Phase II）の解説」

2021 年 8 月 6 日（金）

オンライン

<https://www.iges.or.jp/jp/events/20210806>

■国連大学サステナビリティ高等研究所「RCE ユース・ウェビナー：気候変動に関する若者の声、持続可能性のための行動」

2021 年 8 月 11 日（水）

オンライン

<https://ias.unu.edu/jp/events/upcoming/rce-youth-webinar-youth-voices-on-climate-change-action-for-sustainability.html>

■（株）新社会システム総合研究所「カーボンプライシングを正しく理解する」

2021 年 8 月 18 日（水）

SSK セミナールーム（東京都港区）／ライブ配信／オンライン配信

<https://www.ssk21.co.jp/S0000103.php?gpage=21315>

■NPO 法人農都会議「2021 提言 SG 第 3 回『地域・企業の現場から政策提言』発表会～身近な課題の解決策を気軽に提案しよう！～」

2021 年 8 月 23 日（月）

オンライン開催（Zoom 利用）

<https://blog.canpan.info/bioenergy/archive/348>

■NPO 法人バイオマス産業社会ネットワーク第 197 回研究会「ウェスタ・CHP の木質バイオマスビジネスの概要と今後の見通し（仮題）」

2021 年 8 月 25 日（水）

ZOOM オンライン開催

<https://www.npobin.net/apply/>

■BECC JAPAN「第8回 気候変動・省エネルギー行動会議  
BECC JAPAN 2021」  
2021年8月31日(火)  
早稲田大学西早稲田キャンパス63号館(東京都新宿区)／オン  
ライン  
<https://seeb.jp/eventcontents/3748>

■(公財)SOMPO 環境財団、他「市民のための環境公開講座  
2021」  
PART1:気候変動とエネルギーの転換  
2021年9月1日(水)、9月15日(水)、9月29日(水)  
オンライン  
<https://www.sompo-ef.org/kouza/kouza2021/>

■(株)新社会システム総合研究所「企業は炭素クレジット  
と二国間クレジット制度をどう活用すべきか～カーボンニュ  
ートラルを見据えた日本の政策・制度と実務～」  
2021年9月2日(木)  
SSK セミナールーム(東京都港区) / Zoom ライブ配信 /アーカ  
イブ配信  
<https://www.ssk21.co.jp/S0000103.php?gpage=21370>

◎RX Japan (株)「第1回国際バイオマス展【秋】」  
2021年9月29日(水)～10月1日(金)  
東京ビッグサイト青梅展示棟(東京都江東区)  
[https://www.bm-expo.jp/ja-jp/lp-visp.html?utm\\_source=google&utm\\_medium=cpc&utm\\_campaign=bm&gclid=EAlalQobChMI18-f5dyC8glVwrWWCh2pVAIcEAMYASAAEgJ8ffD\\_BwE](https://www.bm-expo.jp/ja-jp/lp-visp.html?utm_source=google&utm_medium=cpc&utm_campaign=bm&gclid=EAlalQobChMI18-f5dyC8glVwrWWCh2pVAIcEAMYASAAEgJ8ffD_BwE)  
<https://www.bm-expo.jp/ja-jp.html>

■第44回全国育樹祭北海道実行委員会「第44回全国育樹  
祭」  
2021年10月9日(土)～10日10日(日)  
北海道苫小牧市  
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/zij/index.htm>

■(一社)林業機械化協会「2021 森林・林業・環境機械展示実  
演会」  
2021年10月10日(日)～11日(月)  
北海道苫小牧市  
<https://www.rinkikyo.or.jp/>

◎RX Japan (株)「スマートエネルギーWeek 内バイオマス  
展」【関西展】  
2021年11月17日(水)～11月19日(金)  
インテックス大阪(大阪府大阪市)  
<https://www.bm-expo.jp/ja-jp.html>

■第23回エコプロ2021  
2021年12月8日(水)～10日(金)  
東京ビッグサイト東ホール(東京都江東区)  
<https://eco-pro.com/eco2021/>

■再生可能エネルギー協議会「第16回再生可能エネルギー世  
界展示会&フォーラム」  
2022年1月26日(水)～28日(金)  
東京ビッグサイト東ホール&会議棟(東京都江東区)  
<https://www.renewableenergy.jp/2022/jp/>

◎RX Japan (株)「スマートエネルギーWeek 内バイオマス  
展」【春展】  
2022年3月16日(水)～18日(金)  
東京ビッグサイト(東京都江東区)  
<https://www.bm-expo.jp/ja-jp.html>

#### 4. イベント情報(海外)

■The 10th Asia-Pacific Biomass Energy Exhibition (APBE2021)  
2021年8月16日(月)～18日(水)  
広州市(中国)

<http://www.apbechina.com/alone/alone.php?id=18>

■ALL-ENERGY Exhibition and Conference 2021

2021年8月18日(水)～19日(木)

グラスゴー(イギリス)

<https://www.all-energy.co.uk/en-gb.html>

■Indonesia Biomass & Co-firing Opportunities

2021年8月26日(木)

オンライン

<https://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=WEB210864>  
&

■3rd European Conference / Biogas & Biogas Upgrading Biogas PowerON

2021年9月1日(木)

コペンハーゲン(デンマーク)

<https://fortesmedia.com/biogas-poweron-2021,4,en,2,1,14.html>

■Expobiogaz 2021

2021年9月1日(木)～2日(金)

メッス(フランス)

<https://www.expo-biogaz.com/en>

■Svevio Fuel Market Day

2021年9月7日(火)

オンライン/ストックホルム(スウェーデン)

<https://www.svebio.se/en/evenemang/svebio-fuel-market-day-2/>

■tcbiomass2021

2021年9月14日(火)～16日(木)

コロラド州デンバー(USA)

<https://www.gti.energy/training-events/tcbiomass/>

■3rd European Conference / Trade & Power Biomass PowerON 2021

2021年9月15日(水)～16日(木)

コペンハーゲン(デンマーク)

<https://fortesmedia.com/biomass-poweron-2021,4,en,2,1,12.html>

■Wood Energy Conference 2021

2021年9月20日～23日

デジタル会議

<https://www.fachkongress-holzenergie.de/en>

◎Advanced Biofuel Conference 2021

2021年9月21日(火)～23日(木)

オンライン/ストックホルム(スウェーデン)

<https://www.svebio.se/en/evenemang/advanced-biofuels-conference-2021/>

■EXPO BIOMASA 2021

2021年9月21日(火)～23日(木)

バリャドリッド(スペイン)

<https://www.expobiomasa.com/en/salon-gas-renovable>

■RWM & Future Resource 2021

2021年9月22日(水)～23日(木)

バーミンガム(UK)

<https://www.rwmexhibition.com/>

■Progress in Biogas V

2021年9月22日(水)～24日(金)

オンライン会議

<https://ibbk-biogas.com/schedule/progress-in-biogas/>

■Future of Energy Now

2021年10月4日(月)～8日(金)

オンライン

<https://www.all-energy.co.uk/en-gb.html>

■Biogas PowerON & Future of Biofuels 2021

2021年10月5日(火)～6日(水)

コペンハーゲン(デンマーク)

<https://fortesmedia.com/biogas-poweron-2021,4,en,2,1,14.html>

■13th Biofuels International Conference & Expo

2021年10月19日(火)～20日(水)

ブリュッセル(ベルギー)

<https://www.biofuels->

[news.com/conference/biofuels/biofuels\\_index\\_2021.php](https://www.biomassconference.com/conference/biofuels/biofuels_index_2021.php)

■International Biomass Congress & Expo

2021年10月19日(火)～20日(水)

ブリュッセル(ベルギー)

<https://www.bioenergy->

[news.com/conference/biomass/biomass\\_index\\_2021.php](https://www.bioenergy-news.com/conference/biomass/biomass_index_2021.php)

■International Biogas Congress & Expo

2021年10月19日(火)～20日(水)

ブリュッセル(ベルギー)

<https://www.bioenergy->

[news.com/conference/biogas/biogas\\_index\\_2021.php](https://www.bioenergy-news.com/conference/biogas/biogas_index_2021.php)

■POWERGEN INDIA

2021年10月27日(水)～29日(金)

ニューデリー(インド)

<https://www.powergen-india.com/>

■17th Carbon Dioxide Utilisation Summit

2021年10月27日(水)～28日(木)

ブリュッセル(ベルギー)

<https://www.wplgroup.com/aci/event/co2/>

■COP26

2021年11月1日(月)～12日(金)

グラスゴー(UK)

<https://ukcop26.org/>

◎European Biomass to Power Conference 2021

2021年11月17日(木)～18日(金)

マンチェスター(UK)

<https://www.wplgroup.com/aci/event/european-biomass-to-power/>

■Future of Biogas Europe 2021

2021年11月24日(水)～25日(木)

ベルリン(ドイツ)

<https://www.wplgroup.com/aci/event/future-biogas-europe/>

■IEA Bioenergy Conference 2021

2021年11月28日(日)～12月9日(木)

オンラインセッション

<https://task40.ieabioenergy.com/>

■WOODEX

2021年11月30日(火)～12月3日(金)

モスクワ(ロシア)

<https://woodexpo.ru/Home>

■bio360

2022年1月26日(水)～27日(木)

ナンテ(フランス)

<https://www.bio-360.com/en/>

■15h Annual International Biomass Conference & Expo

2022年3月14日(月)～16日(水)

フロリダ州ジャクソンビル(USA)

<http://www.biomassconference.com/ema/DisplayPage.aspx?pageId=Home>

■Bio360 Week

2022年3月22日(火)～26日(土)

バーチャルイベント

<https://public.message->

[business.com/emailing/25115/1807/r16azivyvmpvfjhjzagfbiigjjzyzsehhe/emailing.aspx?utm\\_campaign=Bio360+6&utm\\_medium=Emailing&utm\\_source=Sendethic](https://public.message-business.com/emailing/25115/1807/r16azivyvmpvfjhjzagfbiigjjzyzsehhe/emailing.aspx?utm_campaign=Bio360+6&utm_medium=Emailing&utm_source=Sendethic)

■Carrefour International du Bois

2022年6月1日(水)～3日(金)

ナンテ(フランス)

<https://www.timbershow.com/en/>

■Elmia Wood 2022

2022年6月2日(木)～4日(土)

ヴァガリード(スウェーデン)

<https://www.elmia.se/en/wood/>

2022年9月

キエフ（ウクライナ）

## 5. 2021年度ペレットストーブ、ボイラ補助金情報（都道府県順）

※締切や公募の条件等の詳細は各自治体にお問い合わせください。

◇：ストーブ

◆：ストーブ・ボイラ共

### 【山形県】

◆山形市「令和3年度薪ストーブ等利用拡大支援事業補助金」

[https://www.city.yamagata-](https://www.city.yamagata-yamagata.lg.jp/shimin/sub4/energy/9e118pd0323105020.html)

[yamagata.lg.jp/shimin/sub4/energy/9e118pd0323105020.html](https://www.city.yamagata-yamagata.lg.jp/shimin/sub4/energy/9e118pd0323105020.html)

### 【福島県】

◇会津美里町「会津美里町ペレットストーブ等購入設置事業補助金」

[https://www1.g-](https://www1.g-reiki.net/aizumisato/reiki_honbun/c592RG00001132.html)

[reiki.net/aizumisato/reiki\\_honbun/c592RG00001132.html](https://www1.g-reiki.net/aizumisato/reiki_honbun/c592RG00001132.html)

### 【長野県】

◆飯山市「ペレットストーブ及びペレットボイラー設置補助金（飯山市森のエネルギー推進事業）」

<https://www.city.iiyama.nagano.jp/soshiki/nourin/rinmu/pellet>

◆上田市「ペレットストーブ等補助金」

<https://www.city.ueda.nagano.jp/soshiki/sinrin/1469.html>

◇軽井沢町「令和3年度木質バイオマス循環利用普及促進事業（ペレットストーブ設置事業）補助金」

[https://www.town.karuizawa.lg.jp/www/sp/contents/1575445](https://www.town.karuizawa.lg.jp/www/sp/contents/1575445888146/index.html)

[888146/index.html](https://www.town.karuizawa.lg.jp/www/sp/contents/1575445888146/index.html)

◇下諏訪町「下諏訪町木質バイオマス循環利用促進事業補助金」

[http://www.town.shimosuwa.lg.jp/www/contents/1499047967](http://www.town.shimosuwa.lg.jp/www/contents/1499047967809/index.html)

[809/index.html](http://www.town.shimosuwa.lg.jp/www/contents/1499047967809/index.html)

◇茅野市「ペレットストーブの補助金」

[https://www.city.chino.lg.jp/soshiki/nourin/mokushitsubiomass.ht](https://www.city.chino.lg.jp/soshiki/nourin/mokushitsubiomass.html)

[ml](https://www.city.chino.lg.jp/soshiki/nourin/mokushitsubiomass.html)

※令和3年8月頃案内を掲載予定

◆山之内町「山ノ内町ペレットストーブ等設置事業補助金」

<http://www.town.yamanouchi.nagano.jp/norin/ringyo.html>

### 【島根県】

◇出雲市「令和3年度出雲市再生可能エネルギー設備等導入補助金」

[https://www.city.izumo.shimane.jp/www/contents/158555967](https://www.city.izumo.shimane.jp/www/contents/1585559674888/index_k.html)

[4888/index\\_k.html](https://www.city.izumo.shimane.jp/www/contents/1585559674888/index_k.html)

### 【広島県】

◇安芸太田町「ペレットストーブ等購入補助金」

<http://www.akiota.jp/sangyo/pellet-stove.html>

### 【熊本県】

◆南阿蘇村「令和3年度木質バイオマス燃料燃焼機器設置補助」

<https://www.vill.minamiaso.lg.jp/kiji003841/index.html>

◇南小国町「ペレットストーブ等購入補助金」

<https://www.town.minamioguni.lg.jp/joseikin/>

## 6. 公募等情報（締切順）

■（一財）環境イノベーション情報機構「令和3年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（地域レジリエンス・脱炭素化

を同時実現する避難施設等への自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業）の補助事業者の公募のお知らせ（三次公募）」

公募期間 2021年7月5日(月)～8月6日(金)

<https://www.eic.or.jp/eic/topics/2021/resi/003/>

■(公財)イオン環境財団「第31回イオン環境活動助成公募開始」

募集期間 2021年6月24日(木)～8月12日(木)

<https://www.aeon.info/ef/pdf/news/20210624.pdf>

■(一社)日本木質バイオマスエネルギー協会「地域主導の熱利用推進にむけた人材育成研修のご案内」

募集期間 2021年7月中旬～8月中旬(約4週間募集予定)

※研修時期:2021年9月～12月

<https://www.jwba.or.jp/netu-jinzai-chirashi/>

■(公財)日本環境協会「令和2年度(第3次補正予算)二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(再エネの最大限の導入の計画づくり及び地域人材の育成を通じた持続可能でレジリエントな地域社会実現支援事業)の第三次公募について」

公募期間 2021年7月13日(火)～8月12日(木)

<https://www.jeas.or.jp/news/000061.html>

■環境省「国連気候変動枠組条約第26回締約国会議(COP26)ジャパン・パビリオン開催に伴う展示の募集」

応募期間 2021年7月20日(火)～8月13日(金)

<https://www.env.go.jp/press/109816.html>

■(一財)日本森林林業振興会「令和3年度『森林林業振興助成事業』の公募について」

公募期間 2021年7月9日(金)～8月19日(木)

<http://www.center-green.or.jp/>

■農水省「令和3年度バイオマス産業都市構想の提案を募集」

募集期間 2021年5月24日(月)～8月20日(金)

[https://www.maff.go.jp/j/press/shokusan/bio\\_s/210524.html](https://www.maff.go.jp/j/press/shokusan/bio_s/210524.html)

■環境省「令和3年度環境配慮型CCUS一貫実証拠点・サプライチェーン構築事業委託業務(固体吸収剤による分離回収技術実証)の公募について」

受付期間 2021年7月27日(火)～8月27日(金)

[http://www.env.go.jp/earth/ondanka/biz\\_local/r3\\_ccus\\_kotai/r3](http://www.env.go.jp/earth/ondanka/biz_local/r3_ccus_kotai/r3)

[ccus.html](#)

■(一社)環境技術普及促進協会「令和3年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(PPA活用など再エネ価格低減等を通じた地域の再エネ主力化・レジリエンス強化促進事業)(5)再エネの価格低減に向けた新手法による再エネ導入事業に係る公募」

公募期間

・2次公募 2021年7月26日(月)～8月27日(金)

・3次公募 2021年9月9日(木)～10月8日(金)

[http://www.eta.or.jp/offering/21\\_07\\_keikaku/210618.php](http://www.eta.or.jp/offering/21_07_keikaku/210618.php)

■新潟県「令和3年度新潟県再生可能エネルギー設備導入促進事業補助金の二次公募実施中」

公募期間 2021年7月21日(水)～9月10日(金)

<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/sogyosuishin/1356915935143.html>

■滋賀県「令和3年度滋賀県地域エネルギー活動支援事業補助金」

募集期間 2021年5月17日(月)～9月30日(木)

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kankyoshizen/ondanka/311680.html>

■(一社)環境共創イニシアチブ「令和3年度地域共生型再生可能エネルギー等普及促進事業費補助金公募情報(地域マイクログリッド構築事業)」

公募期間

・3次締切:2021年9月30日(木)

・4次締切:2021年10月29日(金)

<https://sii.or.jp/microgrid03/note1.html>

■(一社)環境共創イニシアチブ「令和3年度地域共生型再生可能エネルギー等普及促進事業費補助金公募情報(導入プラン作成事業)」

公募期間

・3次締切:2021年9月30日(木)

・4次締切:2021年10月29日(金)

<https://sii.or.jp/microgrid03/note2.html>

■（公財）廃棄物・3R 研究財団「令和3年度『二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（我が国循環産業の戦略的国際展開による海外でのCO2削減支援事業）』」

公募期間 2021年5月11日（火）～11月30日（火）

[https://www.jwrf.or.jp/individual/prj\\_000369.html](https://www.jwrf.or.jp/individual/prj_000369.html)

■埼玉県「令和3年度埼玉県分散型エネルギー利活用設備整備費補助金」

公募期間 2021年5月17日（月）～12月17日（金）

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0503/bunnsanngata-hozyo.html>

■（公財）ひょうご環境創造協会「令和3年度中小事業者省エネ設備等導入支援事業補助金」

募集期間 2021年5月10日（月）～12月24日（金）

<http://www.eco-hyogo.jp/global-warming/tyuushou2021/>

■静岡県浜松市「浜松市木質バイオマス設備導入支援事業費補助金」

受付期間 2021年4月15日（木）～2022年1月31日（月）

[https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/shin-ene/new\\_ene/mokushitsuhojokin.html](https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/shin-ene/new_ene/mokushitsuhojokin.html)

■東京都地球温暖化防止活動推進センター「地産地消型再生エネ増強プロジェクト」

受付期間 2021年4月1日（木）～2022年3月31日（木）

<https://www.tokyo-co2down.jp/subsidy/chisan-zokyo>

■東京都「地方卸売市場省エネルギー等対応施設整備補助金」

受付期間 2017年4月1日（土）～2022年3月31日（木）

<https://www.shijou.metro.tokyo.lg.jp/jouhoukoukai-portal/pdf/jiritsu/hojo/g3-3.pdf>

■農水省「農林漁業者とバイオ燃料製造業者の連携によるバイオ燃料製造支援」

適用期限 ～2022年3月31日（木）

<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/bio/nenryoho/>

■東京都「東京都区市町村との連携による地域環境力活性化事業」

事業期間 2014年度～2023年度

[http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/policy\\_others/municipal\\_support/current.html](http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/policy_others/municipal_support/current.html)

■静岡県富士市「令和3年度中小企業者温暖化対策事業費補助金」

<https://www.city.fuji.shizuoka.jp/kurashi/c0903/rn2ola00000cn7d.html>

■高知県「高知県木質資源利用促進事業費補助金」

<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030501/2019022200068.html>

■高知県「再生可能エネルギー利活用事業費補助金」

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/610301/2015060100117.html>

■高知県香南市「香南市燃料タンク対策事業費補助金」

[http://www.city.kochi-konan.lg.jp/reiki\\_int/reiki\\_honbun/r254RG00001291.html](http://www.city.kochi-konan.lg.jp/reiki_int/reiki_honbun/r254RG00001291.html)

■高知県仁淀川町「仁淀川町再生可能エネルギー利活用事業費補助金」

[http://www.town.niyodogawa.lg.jp/reiki/reiki\\_honbun/r191RG0000129.html#e000000030](http://www.town.niyodogawa.lg.jp/reiki/reiki_honbun/r191RG0000129.html#e000000030)

■北海道「林業・木材産業改善資金」

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/rrm/kaizennshikinn.pdf>

■栃木県「栃木県環境保全資金（省エネ設備等の導入）」

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/d02/eco/kankyuu/ondanka/syouene-setubi-yuusi.html>

※融資制度

■徳島県「自然エネルギー立県とくしま推進資金貸付制度」

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kurashi/shizen/5007685/>

※融資制度

■奈良県「新エネルギー等対策資金」

<http://www.pref.nara.jp/23346.htm>

※融資制度

■（公財）日本環境協会「令和2年度環境配慮型融資促進利子補給事業」

■横浜市「よこはまプラス資金（環境・エネルギー対策）」

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kankyo-koen-gesui/plus/hozenshikin.html>

※融資制度

■千葉県「環境保全資金（制度全般事業認定）」

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shigen/chikyukankyou/ne/shien-jigyousha.html>

■千葉県市原市「市原市企業立地促進条例」

<http://www.city.ichihara.chiba.jp/kanko/0205sangyou/kigyourittigaido.html>

[https://www.jeas.or.jp/activ/prom\\_24\\_00.html](https://www.jeas.or.jp/activ/prom_24_00.html)

※融資制度

■千葉県南房総市「南房総市施設園芸用木質バイオマス暖房機設置費等補助金」

<https://www.city.minamiboso.chiba.jp/0000007149.html>

■（独）農林漁業信用基金「災害で被災された方の支援について（新型コロナウイルス感染症による影響を含む）」

<https://www.jaffic.go.jp/guide/rin/shien/index.html>

■NEDO「2021年度『新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業』に係る第二回公募について」【予告】  
公募期間 2021年8月中旬～2021年9月下旬（予定）

[https://www.nedo.go.jp/koubo/CA1\\_100313.html](https://www.nedo.go.jp/koubo/CA1_100313.html)